

「みえ子どもスマイルレポート」重点的な取組の進展度等一覧

総合目標の状況

総合目標	第二期プラン策定時	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	目標値
合計特殊出生率	1.54 (平成 30 年)	1.42 (令和 2 年)	【未発表】	1.8 台 (2020 年代半ば)
地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育つて いると感じる県民の割合	51.5% (平成 30 年度)	56.2% (令和 2 年度)	53.0% (令和 3 年度) 【速報値】	63.5% (令和 6 年度)

重点的な取組の進展度、重点目標等一覧

重点的な取組	取組の進展度	判断理由	重点目標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				現状値	目標値	目標値	達成状況	目標値	目標値	
					実績値	実績値		実績値	実績値	
1 子どもの貧困対策	○ (ある程度進んだ)	子どもの貧困対策計画を策定する市町数は目標に達しなかったものの、長引くコロナ禍においても生活困窮家庭の子どもへの支援の取組が進んでいることから左のとおり判断しました。	子どもの貧困対策計画を策定している市町数	8 市町	11 市町	13 市町	0.85	18 市町	22 市町	29 市町
2 児童虐待の防止	○ (進んだ)	市町の相談体制と専門性の強化を進めた結果、重点目標を達成できたことから左のとおり判断しました。	児童虐待の早期対応力強化に取り組む市町数	14 市町	20 市町	23 市町	1.00	26 市町	29 市町	29 市町
3 社会的養育の推進	○ (進んだ)	重点目標を達成したほか、主な取組が概ね進展していることから左のとおり判断しました。	児童養護施設・乳児院の多機能化等の事業数（累計）	8 事業	11 事業	12 事業	1.00	14 事業	16 事業	18 事業
4 若者等の雇用対策	未確定		県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合	41.8%	46.8%	47.9%		48.9%	50.0%	51.0%
5 不妊に悩む家族への支援	○ (ある程度進んだ) (平均 0.98)	不妊治療に職場の理解があると感じている人の割合は目標に達しなかったものの、県独自の全ての不妊治療助成事業に取り組む市町数は目標に達したことから左のとおり判断しました。	県独自の全ての不妊治療助成事業に取り組む市町数	17 市町	19 市町	22 市町	1.00	25 市町	27 市町	29 市町
		不妊治療に職場の理解があると感じている人の割合		48.6%	51.0%	54.0%	0.95	57.0%	60.0%	60.0%
				169 人	194 人	227 人				
6 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実	○ (進んだ) (平均 1.00)	重点目標の全項目で目標を達成したことから左のとおり判断しました。	母子保健コーディネータ一養成数（累計）	19 市町	22 市町	25 市町	1.00	245 人	270 人	295 人
		産婦健診・産後ケアを実施している市町数		19 市町	24 市町	27 市町	1.00	27 市町	29 市町	29 市町
7 周産期医療体制の充実	○ (ある程度進んだ) (平均 0.86)	周産期死亡率は目標に達しなかったものの、周産期医療関係者の資質向上や周産期医療ネットワーク体制の充実に向けた取組が進んで	周産期死亡率（県） (厚生労働省「人口動態統計」)	2.9 (H30 年)	3.3※ (R 元年)	2.1※ (R 2 年)	0.72	2.1※	2.1※	※

重点的な取組	取組の進展度	判断理由	重点目標	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
				現状値	目標値	目標値	達成状況	目標値	目標値	目標値
					実績値	実績値		実績値	実績値	実績値
		いること、妊産婦死亡率は目標に達したことから左のとおり判断しました。	妊産婦死亡率（県） (厚生労働省「人口動態統計」)	0.0 7.8 (H30年)	0.0 0.0 (R元年)	0.0 0.0 (R2年)	1.00	0.0 0.0 (R2年)	0.0 0.0 (R3年)	0.0 0.0 (R4年)
8 幼児教育・保育、放課後児童対策などの子育て家庭の支援	○ (進まなかつた) (平均●.●●)	重点目標がいずれも達成できなかったことから左のとおり判断しました。	保育所等の待機児童数（県） (厚生労働省「保育所等利用待機児童数調査」)	0人 81人	0人 50人	0人 50人	達成困難 見込み	0人 0人	0人 0人	0人 0人
			放課後児童クラブの待機児童数（県） (厚生労働省「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況調査」)	37人 55人	19人 28人	37人 28人		0人 0人	0人 0人	0人 0人
			県が関わって実施した「みえの親スマイルワーク」の実施市町数	11市町 4市町	17市町 5市町	11市町 10市町	0.59	23市町 29市町	29市町 29市町	29市町 29市町
			男性の育児休業取得率（育児休業制度を利用した従業員の割合（県、男性）） (三重県「三重県内事業所労働条件等実態調査」)	8.1% 7.6%	9.8% 12.9%	8.1% 12.9%		17.2%※ 160企業・団体	21.5%※ 180企業・団体	25.8%※ 200企業・団体
			「みえの育児男子プロジェクト」に参加した企業・団体数	120企業・団体 82企業・団体	140企業・団体 114企業・団体	120企業・団体 114企業・団体	0.81	160企業・団体 183人※	180企業・団体 213人※	200企業・団体 243人※
			「C L Mと個別の指導計画」を導入している保育所・幼稚園等の割合は目標に達しなかったものの、医療的ケア児・者コーディネーター養成研修修了者数は目標に達したことから左のとおり判断しました。	58.5% 57.4%	61.0% 60.5%	58.5% 61.0%		64.0% 183人※	67.5% 213人※	67.5% 243人※
			医療的ケア児・者コーディネーター養成研修修了者数（累計）	91人 71人	111人 153人	91人 153人		80.9% 107人	81.4% 153人	83.6% 243人※
			多様な就労形態を導入している県内事業所の割合（三重県「三重県内事業所労働条件等実態調査」）	78.9% 77.9%	79.9% 80.7%	78.9% 80.7%	1.00	80.9% 86.1%	81.4% 86.1%	83.6% 86.1%
9 男性の育児参画の推進	○ (ある程度進んだ) (平均 0.91)	「みえの育児男子プロジェクト」に参加した企業・団体数は目標に達しなかったものの、男性の育児休業取得率は目標に達したことから左のとおり判断しました。	男性の育児休業取得率（育児休業制度を利用した従業員の割合（県、男性）） (三重県「三重県内事業所労働条件等実態調査」)	8.1% 7.6%	9.8% 12.9%	8.1% 12.9%	1.00	17.2%※ 160企業・団体	21.5%※ 180企業・団体	25.8%※ 200企業・団体
10 発達支援および医療的ケアが必要な子どもへの支援	○ (ある程度進んだ) (平均 0.995)	「C L Mと個別の指導計画」を導入している保育所・幼稚園等の割合は目標に達しなかったものの、医療的ケア児・者コーディネーター養成研修修了者数は目標に達したことから左のとおり判断しました。	「C L Mと個別の指導計画」を導入している保育所・幼稚園等の割合（県）	58.5% 57.4%	61.0% 60.5%	58.5% 61.0%	0.99	64.0% 183人※	67.5% 213人※	67.5% 243人※
11 仕事と子育ての両立支援などの働き方改革の推進	○ (進んだ)	重点目標を達成したほか、主な取組が概ね進展していることから左のとおり判断しました。	医療的ケア児・者コーディネーター養成研修修了者数（累計）	91人 71人	111人 153人	91人 153人		80.9% 86.1%	81.4% 86.1%	83.6% 86.1%

※「7 周産期医療体制の充実」の重点目標「周産期死亡率（県）」は、第7次三重県医療計画（平成30年度～令和5年度）による目標値としています。

※「9 男性の育児参画の推進」の重点目標「男性の育児休業取得率（育児休業制度を利用した従業員の割合（県、男性））」は、令和3年度の実績値をふまえ、令和4年度以降の目標値を上方修正しました。

※「10 発達支援および医療的ケアが必要な子どもへの支援」の重点目標「医療的ケア児・者コーディネーター養成研修修了者数（累計）」は、令和3年度の実績値をふまえ、令和4年度以降の目標値を上方修正しました。